

第7期(令和6年度～令和8年度)伊賀市障がい福祉計画 成果目標 進捗管理表

(1)福祉施設入所者の地域生活への移行

【国の指針】

施設入所者(令和4年度末)の5%以上削減
施設入所者(令和4年度末)の6%以上を地域生活へ移行

① 施設入所者数の削減

●伊賀市 82人⇒77人(6.0%削減)			
項 目	R6	R7	R8
目標値	—	—	77人
実績値	77人		

② 地域生活移行者数の促進

●伊賀市 5人(6.1%)				
項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	1人	2人	2人	5人
実績値	1人			

(2)精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの充実

【国の指針】

保健・医療・福祉関係者が連携して取り組むとともに、精神障がい者の精神病床からの退院の促進を図る

① 保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催回数

項 目	R6	R7	R8
目標値	年6回以上		
場 所	伊賀圏域		
実績値	6回		

※ 伊賀圏域くらし部会、精神障がい地域包括ケアシステムWGにて協議

(3)地域生活支援の充実

【国の指針】

各市町村において地域生活支援拠点等を整備するとともに、コーディネーターの配置等による効果的な支援体制及び緊急時の連絡体制の構築を進め、また、年1回以上、支援の実績等を踏まえ運用状況を検証、検討

強度行動障害を有する者に関し、各市町村又は圏域にて支援ニーズを把握し、地域の関係機関が連携した支援体制を整備【新規】

① 地域生活支援拠点等の整備、運用状況の検証・検討

●地域生活支援拠点等の整備			
項 目	R6	R7	R8
目標値	それぞれ1か所→面的整備		
説 明	令和8年度末時点		
実績値	設置済	—	—

●地域生活支援拠点等の運用状況の検証・検討

項 目	R7	R8	R9
目標値	年1回以上		
場 所	障がい者地域自立支援協議会		
実績値	2回	—	—

●強度行動障害を有する者に関する支援体制を整備

項 目	R6	R7	R8
目標値	体制整備		
実績値	未実施	—	—

第7期(令和6年度～令和8年度)伊賀市障がい福祉計画 成果目標 進捗管理表

(4)福祉施設から一般就労への移行

【国の指針】

令和3年度の一般就労への移行実績の1.28倍以上

① 一般就労への移行者数(②+③+④)

●伊賀市 9人(1.50倍)				
項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	—	—	—	9人
実績値	7人			

【国の指針】

令和3年度の就労移行支援事業所から一般就労への移行実績の1.31倍以上

② 就労移行支援事業所からの移行者数

●伊賀市 1人(1.3倍)				
項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	—	—	—	1人
実績値	1人	—	—	—

【国の指針】

令和3年度の就労継続支援(A型)事業所から一般就労への移行実績の1.29倍以上

③ 就労継続支援(A型)事業所からの移行者数

●伊賀市 3人(1.29倍)				
項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	—	—	—	3人
実績値	2人	—	—	—

【国の指針】

令和3年度の就労継続支援(B型)事業所から一般就労への移行実績の1.28倍以上

④ 就労継続支援(B型)事業所からの移行者数

●伊賀市 5人(1.28倍)				
項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	—	—	—	5人
実績値	4人	—	—	—

【国の指針】

就労移行支援事業所のうち、就労移行支援事業利用修了者に占める一般就労へ移行した者の割合が、5割以上の事業所を全体の5割以上(新規)

⑤ 一般就労移行者の割合が5割以上の事業所を全体の5割以上

●伊賀市 1か所			
	R6	R7	R8
目標値	全体の5割以上		
実績値	5割		

【国の指針】

令和3年度の就労定着支援事業所利用者数の1.41倍以上

就労定着支援事業所のうち、就労定着率が7割以上の事業所を全体の2割5分以上

⑥ 就労定着支援事業の利用者数及び定着率

●(就労定着支援事業所数)			
項 目	R6	R7	R8
実績値	1か所		

●(就労定着支援事業所の利用者数)

項 目	R6	R7	R8	R6～R8累計
目標値	—	—	—	9人
実績値	1人			

●(就労定着率が7割以上の事業所を全体の2割5分以上)

項 目	R6	R7	R8
目標値	全体の2割5分以上		
実績値	10割		

第7期(令和6年度～令和8年度)伊賀市障がい福祉計画 成果目標 進捗管理表

(5)障がい児支援の提供体制の整備等

【国の指針】

令和8年度末までに、児童発達支援センターを各市町村に1か所以上設置
全市町村において、障がい児の地域社会への参加・包容(インクルージョン)の推進体制の構築

① 児童発達支援センターの設置及びインクルージョン推進体制の構築

●児童発達支援センター設置数・場所			
項 目	R6	R7	R8
目標値	1か所以上		
説 明	令和8年度末時点		
実績値	設置済	—	—

●インクルージョン推進体制の構築

項 目	R6	R7	R8
目標値	体制構築		
説 明	令和8年度末時点		
実績値	設置済	—	—

【国の指針】

市または圏域において、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の関係機関が連携を図るための協議の場の設置

② 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置

●保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が連携を図るための協議の場			
項 目	R6	R7	R8
目標値	1か所		
説明	令和8年度末時点		
実績値	設置済	—	—

【国の指針】

市または圏域において、医療的ケア児に対するコーディネーターを配置

③ 医療的ケア児に対するコーディネーターの配置

●医療的ケア児に対する各関係分野の支援を調整するコーディネーターの配置			
項 目	R6	R7	R8
目標値	1人以上		
説明	令和8年度末時点		
実績値	0人	—	—

【国の指針】

主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保

④ 主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保

●主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所			
項 目	R6	R7	R8
目標値	圏域で1か所		
場所	伊賀圏域		
説明	令和8年度末時点		
実績値	設置済		

●主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス

項 目	R6	R7	R8
目標値	圏域で1か所		
場所	伊賀圏域		
説明	令和8年度末時点		
実績値	設置済		

第7期(令和6年度～令和8年度)伊賀市障がい福祉計画 成果目標 進捗管理表

(6)相談支援体制の充実・強化等

【国の指針】

令和8年度末までに、各市町村において基幹相談支援センターを設置し、総合的・専門的な相談支援体制を確保するとともに、協議会において、個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等を行う

① 基幹相談支援センターの設置

●基幹相談支援センター設置数・場所			
項 目	R6	R7	R8
目標値	1か所以上		
説 明	令和8年度末時点		
実績値	設置済		

② 基幹相談支援センターによる地域の相談支援体制の強化

●地域の相談支援事業所に対する訪問等による専門的な指導及び助言			
項 目	R6	R7	R8
目標値	訪問等による実施・件数(伊賀市:年160件)		
実績値	253件		

●地域の相談支援事業所の人材育成の支援

項 目	R6	R7	R8
目標値	支援・研修会の開催(伊賀市:年1回)		
実績値	3回		

●地域の相談機関との連携強化の取組

項 目	R6	R7	R8
目標値	連携強化の取組実施(伊賀市:相談部会年10回)		
実績値	11回		

③ 協議会における個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善

伊賀市			
障がい者地域自立支援協議会専門部会を活用し、個別事例の検討を通じた地域サービス基盤の開発・改善等の取組を行う。			

(7)障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

【国の指針】

令和8年度末までに、各市町村において、障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制を構築

① 障害福祉サービス等に係る各種研修の活用

●障害福祉サービス等に係る研修への参加			
項 目	R6	R7	R8
目標値	職員の参加・人数(伊賀市:年10回)		
実績値	10回		

② 障害者自立支援審査支払等システムによる審査結果の共有

●障害者自立支援審査支払等システム等による審査結果の共有			
項 目	R6	R7	R8
目標値	事業所との共有・回数(伊賀市:年12件)		
実績値	12回		